



昨年度からの取組について



東浦町 環境課



取組事項

- 1. 資源ごみの拠点回収
- 2. SAF (持続可能な航空燃料)
- 3. インクカートリッジの回収
- 4. フードドライブについて
- 5. メルカリShopsを利用した粗大ごみのリユース
- 6. おもちゃのリユース・リサイクル



1. 資源ごみの拠点回収について



拠点回収実施場所

- ◆回収場所 森岡コミュニティセンター西側(花壇横)
- ◆回収日時 毎日(土日、祝祭日を含む) 午前7時から午後8時まで
- ◆回収品目 アルミ、スチール、ペットボトル、びん、 製品プラスチック



拠点回収場所





製品プラスチックの回収量について

➤令和6年1月~3月の回収量

役場(資源ステーション): 5080kg

森岡コミュニティセンター:900kg ※全体の15%

<u>製品プラスチックの回収場所を増やし、</u> ごみの減量を促進していきたい!



今後について

➤他地区でも拠点回収ステーションの設置を検討し ていただきたい。

…可燃ごみで出される資源ごみの量を減らすことに 繋がる!

…可燃ごみで出される資源ごみの割合は、約20% (2024年3月実施の組成調査より)



2. SAF(持続可能な航空燃料)について



SAFに関する協定

2024年4月25日

東浦町と家庭などから排出される廃食用油を回収 して、SAFに循環させるための協定を締結

中部国際空港株式会社 × 東浦町役場





SAF(持続可能な航空燃料)について

SAFとは、調理をして使い終わった後の廃食用油から作られる燃料のこと。

➤石油から作られる航空燃料に比べ、二酸化炭素 排出量が少なく、環境に優しい。

(今までの石油で作られる燃料に比べ、二酸化炭素の排出量を84%減らすことが可能。)



廃食用油の回収量について

・ 廃食用油の回収量

令和5年(4月~9月): 954kg

令和6年(4月~9月): 1,317kg





廃食用油の回収場所

家庭系

森岡コミュニティセンター

緒川コミュニティセンター

卯ノ里コミュニティセンター

石浜コミュニティセンター

生路コミュニティセンター

藤江公民館

石浜中集会所

平池台集会所

東浦県営住宅集会所

北部ふれあいセンター

西部ふれあいセンター

役場資源ステーション



〇保育園 〇給食センター



3.インクカートリッジの回収について



インクカートリッジの回収について



★使用済みカートリッジがたまったら、 回収専用着払い伝票で送る



インクカートリッジ回収BOXを 設置している場所

- ・役場(資源ステーション)
- ・卯ノ里コミュニティセンター
- ・森岡台自治会集会所



4. フードドライブについて



フードドライブについて

◆フードドライブとは?

家庭で余っている食べ物を持ち寄り、必要としている家庭や福祉団体、子ども食堂などへ届ける取組

◆東浦町での取組

東浦町社会福祉協議会と協力し、2021年度から実 施



フードドライブについて

◆役場フードドライブ実施結果

実施時期	重量(kg)	点数
2022.12	9	74
2023. 3	44	132
2023. 6	20	78
2023. 9	26	62
2023.12	15	44
2024. 3	10	44
2024. 6	14	39
2024. 9	8	37



◆福祉センター、ボランティアセンター (なないろ)では**常時受付中**



5.メルカリSHOPSを利用した 粗大ごみのリユース



メルカリshops」を利用したリユースを開始しています

- ○回収した粗大ごみのうちリユース可能なものを「メルカリshops」で 収集業者が販売開始
- ○町の不要品を「メルカリShops」で販売開始
- <目的・効果>
- 〇リユースの促進及びごみの減量化が図ります。
- ○売却金が町の歳入となる。(粗大ごみのリユースは、売却金の一部)

売上点数:44点

売上金額:57,581円

東浦町歳入:2,879円

R6年8月末時点



粗大ごみは、 ここから購入→





6. おもちゃのリユース・リサイクル



プラスチック製おもちゃ。リユース・リサイクル を行っています

使わなくなったおもちゃを回収し、

- ①保育園などで使う
- ②保育園で使わない使えるものを「メルカリshops」で販売

R6年8月末時点

③もう使えない物をプラスチック原料へ

【リユース】 【リユース】 【リサイクル】

